

■馬場辰猪 自由民権家。開明的な法律の知識で啓蒙に努めるも演説禁止，渡米して活動するも，早世した。

ばばたつ

国定忠治 藩・1850＝ 高知城下中島町で，土佐藩士馬場来八の次男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 3歳：

安政の大獄・1859＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝10歳：

遣欧使節・・1861＝11歳：母から“いろは”を習い，

生麦事件・・1862＝12歳：藩校〔文武館〕に入学，

8月18日政変 1863＝13歳：

禁門の変・・1864＝14歳：父と兄が家禄を召し上げられ，家族が城下を退去し，一人残って，

薩摩藩士密航1865＝15歳：家督を相続。〔文武館〕に再入学，

薩長同盟・・1866＝16歳：蒸気機関学修業の藩命を受け，江戸に出て，慶応義塾に入るが，

大政奉還・・1867＝17歳：世情不穏のため帰郷。

明治維新・・1868＝18歳：長崎へ差し遣わされ，フルベッキについて英語を学ぶうち，〈明治維新〉となり，

戊辰戦争終・1869＝19歳：東京に出て，慶応義塾に再入塾，

初の日刊新聞1870＝20歳：_高知藩から洋行の命を受けてイギリスに留学，法学を学ぶ。

学問のすすめ1872＝22歳：岩倉使節団の滞英中，_政府留学生への切換えを認められ，法学の修得に励むうち，

明治6年政変 1873＝23歳：長兄が病死。現地で，小野梓らと〔日本学生会〕を組織，

佐賀の乱・・1874＝24歳：_政府から召喚されたが，

初の民間工場1875＝25歳：高知に帰着後，弟妹を伴って上京，_旧藩主の後援で，再びイギリスに留学，日本人学生協会を組織，

三つの反乱・1876＝26歳：*条約改正の必要を訴え，英文で「日本における英国人」「日英条約改正論」を出版し，

西南戦争・・1877＝27歳：

大久保暗殺・1878＝28歳：_同じ高知藩の留学生と口論して傷害事件を起こし，帰国させられ，

琉球処分・・1879＝29歳：小野梓らと〔共存同衆〕になって機関誌〔共存雑誌〕の再建を図り，演説や寄稿に励む。

・・・・・1880＝30歳：各地に遊説し，諸誌に寄稿。学習院に出講するかたわら，

明治14年政変1881＝31歳：*〔国友会〕を組織し，〔国友〕雑誌を発刊。自由党員に選ばれ，〔朝野新聞〕などで自由民権思想の啓蒙に尽し，明治義塾に関係して法学教育にもつとめ，訴訟鑑定所を設けて，法律実務にも携わる。

新体詩抄・・1882＝32歳：結核で入院。_自由党機関誌〔自由新聞〕を創刊し主筆になるも，板垣退助の外遊に反対して解任され，

岩倉具視没・1883＝33歳：「天賦人權論」を著わして加藤弘之と論戦，集会条例の適用を受けて，東京府下での演説を6カ月間禁じられる。帰国した板垣の言行に失望して自由党も脱党。

秩父事件・・1884＝34歳：訴訟鑑定所の事業や〔国友会〕主催の演説会，〔国友〕への寄稿などに専念，

内閣発足・・1885＝35歳：_渡米準備のため横浜に行き，モリソン商会でダイナマイトの購入手続き等について聞いたところを，尾行刑事に告発され，爆発物取締規則違反の容疑で検挙されたが，

帝国大学始・1886＝36歳：結核の悪化で長期入院するうち*証拠不十分で無罪放免。アメリカにわたり，ニューヨークを拠点に，各地で，日本を紹介する演説や著述を続け，

国民之友始・1887＝37歳：_フィラデルフィアに移り，

初の対等条約1888＝38歳：*転地療養のため，アトランティック・シティとの間を往復しながら，駐米全権大使陸奥宗光を訪問し，英文で「日本の政治状態」を出版し，フィラデルフィアで没した。「馬場辰猪自叙伝」がある。